



2016年3月期 第1四半期決算説明会

2015年7月27日
株式会社エンプラス

目次

- 2016年3月期 経営基本方針
- 2016年3月期 第1四半期損益実績
- 2016年3月期 第1四半期決算総括
- 2016年3月期 修正計画(連結)
- 各事業の動向と事業戦略

Growth Oriented
成長志向

Global Optimization
グローバル最適化

Cost Reduction
コスト削減

2016年3月期 第1四半期損益実績(連結)

(単位: 億円)	2016/3期	2015/3期	増減	2016/3期	
	1Q実績	1Q実績		上期計画	通期計画
売上高	96.7	100.1	△3.4%	200.0	400.0
売上原価率	45.0%	44.3%	0.7pt	46.5%	46.5%
営業利益	27.3	30.8	△11.3%	55.0	110.0
経常利益	27.9	30.8	△9.4%	55.0	110.0
当期純利益	19.3	20.6	△6.3%	38.0	76.0
包括利益	22.5	19.3	16.5%	—	—
1株当り当期純利益	142.31円	140.64円	1.67円	275.42円	550.84円

四半期損益実績推移(連結)

	2016/3期		2015/3期			
	(単位: 億円)	1Q	4Q	3Q	2Q	1Q
売上高		96.7	100.0	96.4	99.8	100.1
売上原価率		45.0%	47.2%	47.4%	48.2%	44.3%
営業利益		27.3	27.2	24.0	25.5	30.8
経常利益		27.9	26.6	26.9	27.9	30.8
当期純利益		19.3	19.6	19.7	19.1	20.6
1株当り 当期純利益		142.31円	139.58円	134.94円	129.88円	140.64円

2016年3月期 第1四半期セグメント別実績(連結)

(単位: 億円)	2016/3期		2015/3期		
	1Q	4Q	3Q	2Q	1Q
エンプラ事業	32.6	34.6	31.6	31.2	28.9
売上原価率	64.9%	66.9%	68.8%	70.8%	70.6%
営業利益	1.9	2.2	△0.0	△0.2	△0.6
半導体機器事業	20.3	21.8	22.4	20.0	19.0
売上原価率	45.0%	50.2%	47.8%	56.3%	47.5%
営業利益	4.3	3.5	4.5	1.8	3.4
オプト事業	43.6	43.5	42.3	48.5	52.1
売上原価率	30.1%	30.0%	31.3%	30.3%	28.5%
営業利益	21.1	21.3	19.5	23.9	28.1
売上合計	96.7	100.0	96.4	99.8	100.1
売上原価率	45.0%	47.2%	47.4%	48.2%	44.3%
営業利益	27.3	27.2	24.0	25.5	30.8

▶▶▶ 決算総括<前4Q比> ①

◆売上高

(単位: 億円)

2016/3期 1Q	2015/3期 4Q	差異
96.7	100.0	△3.3

◆売上原価率

2016/3期 1Q	2015/3期 4Q	差異
45.0%	47.2%	△2.2pt

- 円安の影響
- 売上高: オプト事業は同水準、エンプラ事業と半導体機器事業が微減
- 事業構造改革、コスト削減により原価率低減

▶▶▶ 決算総括<前4Q比> ②

◆ 販管費

(単位: 億円)

2016/3期 1Q	2015/3期 4Q	差異
25.7	25.6	+0.1

- グローバル戦略投資を継続、人件費増加
- 前期インフラ投資の成果出しとコスト削減努力

◆ 為替差益

(単位: 億円)

2016/3期 1Q	2015/3期 4Q	差異
0.3	△0.5	+0.8

◆ 法人税実効税率

2016/3期 1Q	2015/3期 4Q	差異
30.7%	25.9%	4.8pt

▶▶▶ 2016年3月期第1四半期 主な実施施策

◆ コーポレートガバナンス体制の強化

- 監査等委員会設置会社へ移行
- 全5名の取締役のうち3名が監査等委員

◆ 自己株式取得（2015年9月30日迄）

- 株式の取得価額の総額 9,000百万円（上限）
- 取得しうる株式の総数 2,000,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 13.60%）
- 実施報告（2015年6月30日現在）
- 取得株式数：1,271,800株 取得総額：5,790,636,000円

▶▶▶ 2016年3月期第1四半期 主な実施施策

◆ グローバル本社を開設

名称: 株式会社エンプラス グローバル本社
住所: 東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
新丸の内センタービルディング 9F
最寄駅: 東京駅(丸の内北口)
開設日: 2015年7月27日



主な目的

グローバル統括機能の進化

経営意思決定の全体最適化

幅広い人材の採用と育成

⇒グローバル経営の高度化



▶▶ 2016年3月期 修正計画(連結)

2016年3月期 セグメント別売上修正計画

(単位: 億円)	修正計画		当初計画	
	上期	通期	上期	通期
エンプラ事業	65.0	130.0	62.0	123.0
半導体機器事業	43.0	90.0	43.0	90.0
オプト事業	92.0	180.0	95.0	187.0
合計	200.0	400.0	200.0	400.0

▶▶▶ 2016年3月期 計画(ご参考)

	2016/3期		2015/3期	
	(単位: 億円)	通期修正計画	1Q実績	通期実績
設 備 投 資		18.0	4.0	22.2
減 価 償 却		25.0	6.3	29.6
研 究 開 発		10.0	2.3	10.4

▶▶▶ 主な重点推進事項

➤ 広い事業基盤の構築

- ◆一事業偏重からの脱却
- ◆事業開発の推進
- ◆事業構造改革の完遂

➤ 技術の先鋭化

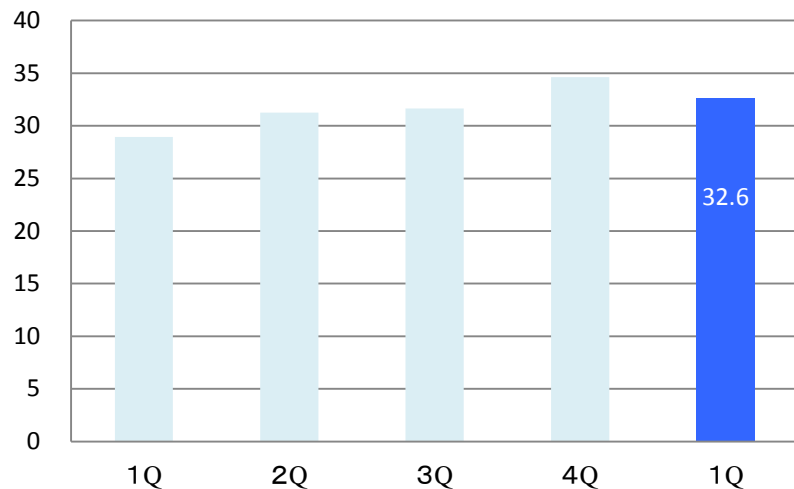
- ◆機能保証を伴うソリューション開発
- ◆技術理論に基づく要素技術
- ◆アプリケーション評価技術の向上

➤ グローバル顧客対応力の強化

- ◆市場を作るトップ企業との共同作業
- ◆顧客目線でのデータ作りと機能提案
- ◆グローバルネットワーク構築

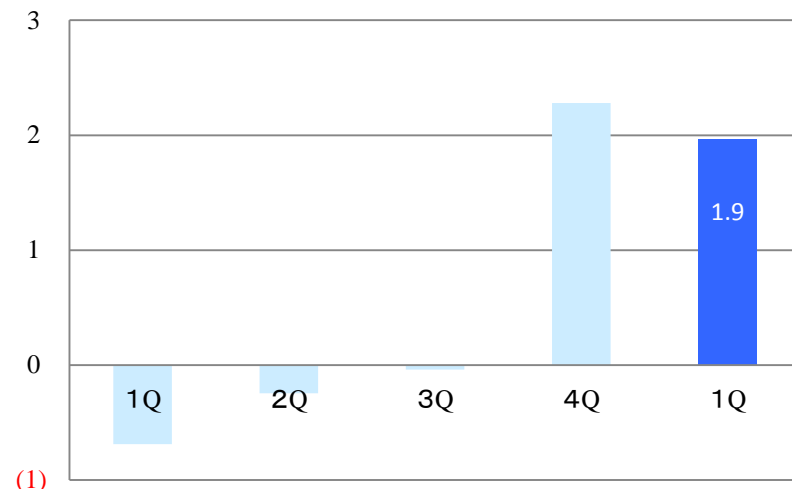
▶▶ 各事業の動向と事業戦略

売上高



営業利益

(単位: 億円)



- 事業構造改革の推進
- ソリューションと機能価値の提案による高付加価値製品の創出と拡販
- グローバル新規顧客開拓

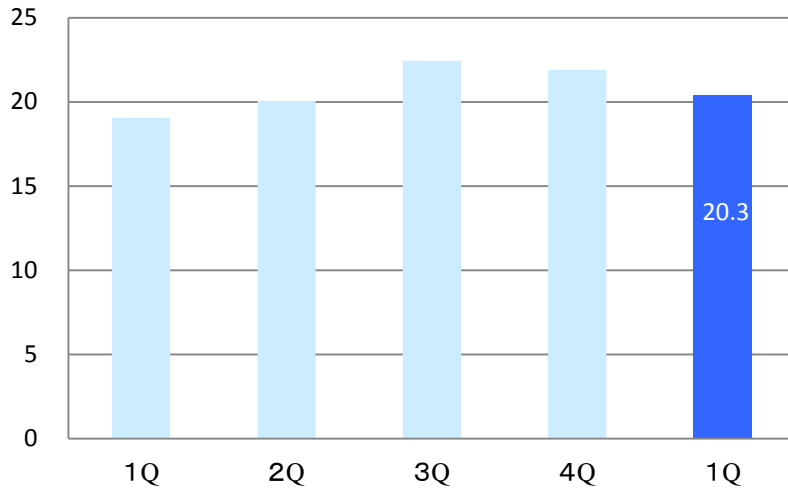
2016年3月期
売上計画: 130億円

(1Q売上実績: 32.6億円)



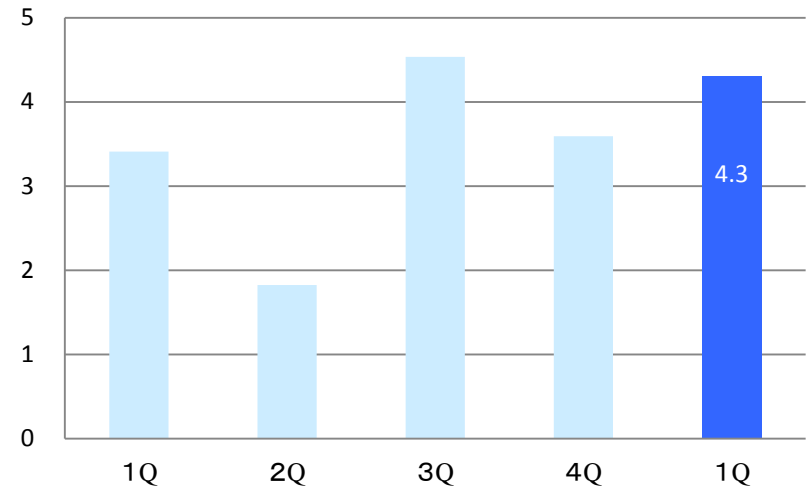
半導体機器事業

売上高



営業利益

(単位: 億円)

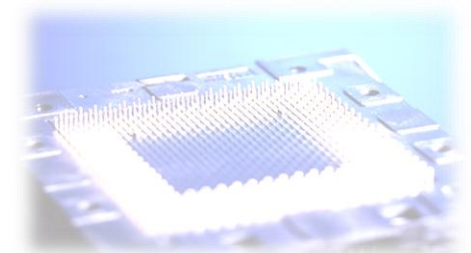


- 技術開発力強化による差別化推進
- シンガポール本社機能を生かした顧客サポート体制の確立
- 欧州・台湾地域戦略の推進

2016年3月期

売上計画: 90億円

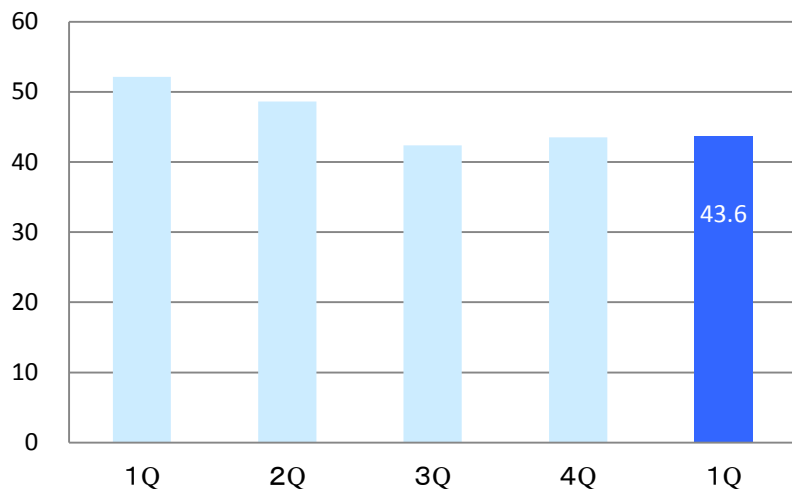
(1Q売上実績: 20.3億円)



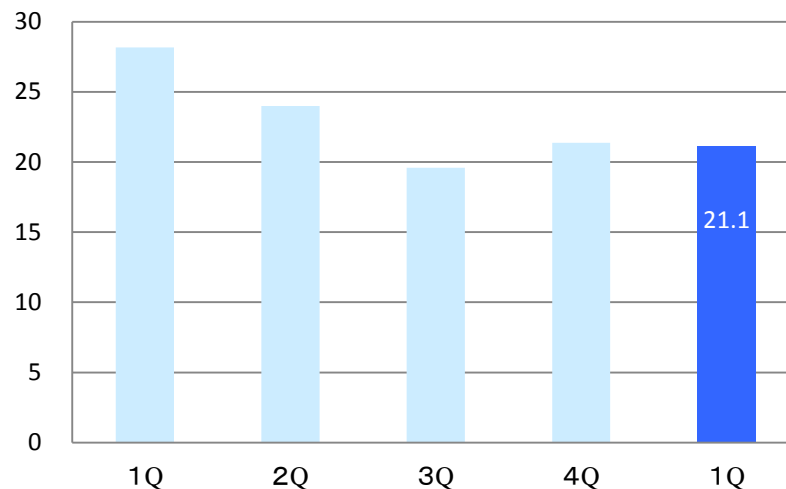
▶▶▶ オプト事業

(単位: 億円)

売上高



営業利益



- ▶ 中国地域戦略による新規顧客獲得
- ▶ グローバル生産体制の構築 (スピード・品質・コスト)
- ▶ 新戦略製品開発の推進

2016年3月期
売上計画: 180億円
(1Q売上実績: 43.6億円)



▶▶▶ 新事業開発

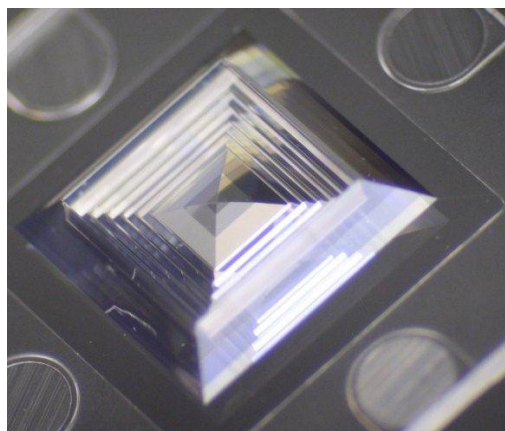
ヘッドマウントディスプレイ



ヘッドアップディスプレイ



フラッシュレンズ



光通信関連





株式会社エンプラス

決算説明会

<http://www.enplas.co.jp/>

(東証1部 6961)

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。